

(案)

# 第4次国有林野施業実施計画書

(渡良瀬川森林計画区)

計画期間 自 平成24年4月1日  
至 平成29年3月31日

関東森林管理局



## 目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに3機能類型及びタイプ別の区域	1
2	施業群及び生産群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積 又は標準伐採量、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごと の更新方法及び更新量	1
(1)	伐採造林計画簿	1
(2)	水土保持林(水源かん養タイプ)における施業群別面積等	1
(3)	水土保持林(水源かん養タイプ)における施業群別の上限伐採面積	2
(4)	資源の循環利用林における生産群別の面積等	3
(5)	資源の循環利用林における生産群別の標準伐採量	3
(6)	伐採総量	4
(7)	更新総量	6
(8)	保育総量	6
3	林道等の整備に関する事項	7
4	治山に関する事項	8
5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	8
(1)	保護林の名称及び区域	8
(2)	緑の回廊の名称及び区域	8
6	レクリエーションの森の名称及び区域	8
7	その他必要な事項	9
(1)	施業指標林、試験地等	9
(2)	フィールドの提供	9
(3)	その他	9



## 1 国有林野の区画の名称及び区域並びに3機能類型及びタイプ別の区域

国有林野の区画の名称及び区域並びに3機能類型及びタイプ別の区域については、別添国有林野施業実施計画図による。

## 2 施業群及び生産群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積又は標準伐採量、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

### (1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、別添伐採造林計画簿に示すとおりである。

### (2) 水土保持林（水源かん養タイプ）における施業群別面積等

(単位：面積ha、伐期齢 年)

施業群	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年
スギ長伐期	330.73	伐採面積の縮小、モザイク的配置	80
スギ分散伐区	408.51	〃	45
ヒノキ長伐期	26.12	〃	80
ヒノキ分散伐区	59.29	〃	50
ヒノキ枝打分散伐区	306.22	伐採面積の縮小、モザイク的配置、照度の確保	50
アカマツ長伐期	—	—	—
アカマツ分散伐区	—	—	—
カラマツ長伐期	81.46	伐採面積の縮小、モザイク的配置	80
カラマツ分散伐区	—	—	—
スギ複層林	314.54	水源涵養機能に配慮した非皆伐	45～90
ヒノキ複層林	81.23	〃	50～100
その他複層林	—	—	—
天然生アカマツ分散伐区	—	—	—
ぼう芽分散伐区	—	—	—
天然林漸伐分散伐区	0.40	伐採面積の縮小、モザイク的配置、確実な更新	100
ブナ漸伐分散伐区	—	—	—
択伐	767.29	(注) 1による	回帰年は定めない
その他	77.87	(注) 2による	定めない
施業群設定外	—	—	—
合計	2,453.66		

(注) 1 択伐施業群の伐採は標準伐期齢以上とし、水源涵養機能の發揮に配慮しつつ隣接林分の主伐、間伐時に併せるなど適時に行うものとする。

2 保護樹帯の伐採は、保護樹帯設定基準によるものとする。

(3) 水土保持林（水源かん養タイプ）における施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施業群	上限伐採面積	摘 要
スギ長伐期	21	
スギ分散伐区	45	
ヒノキ長伐期	2	
ヒノキ分散伐区	6	
ヒノキ枝打分散伐区	31	
アカマツ長伐期	—	
アカマツ分散伐区	—	
カラマツ長伐期	5	
カラマツ分散伐区	—	
スギ複層林	35	
ヒノキ複層林	8	
その他複層林	—	
天然生アカマツ分散伐区	—	
ぼう芽分散伐区	—	
天然林漸伐分散伐区	0	
ブナ漸伐分散伐区	—	
択伐	77	
その他	8	
施業群設定外	—	
合計	238	

(4) 資源の循環利用林における生産群別の面積等

(単位：面積ha、伐期齢 年)

生産群	面積	生産目標等	伐期齢又は回帰年
スギ大径材	—	—	—
スギ中径材	84.74	一般建築材 (22cm)	45
ヒノキ大径材	—	—	—
ヒノキ中径材	11.54	一般建築材 (22cm)	50
ヒノキ無節柱材	—	—	—
アカマツ大径材	—	—	—
アカマツ中径材	—	—	—
カラマツ大径材	—	—	—
カラマツ中径材	—	—	—
スギ複層林	—	—	—
ヒノキ複層林	—	—	—
その他複層林	—	—	—
天然生アカマツ中径材	—	—	—
ぼう芽	—	—	—
天然林漸伐	—	—	—
ブナ漸伐	—	—	—
択伐	—	—	回帰年は定めない
その他	—	定めない(保護樹帯等)	定めない
生産群設定外	—	—	—
合計	96.28		

(注) 1. 「生産目標等」の数値は、生産目標とする胸高直径である。

2. 択伐生産群の伐採は標準伐期齢以上とし、生産目標に対応する期待径級に達した後に隣接林分の主伐、間伐時に併せるなど適時に行うものとする。

(5) 資源の循環利用林における生産群別の標準伐採量

当該森林計画区の「資源の循環利用林」は、分収林が大部分であり、標準伐採量は定めないこととする。

## (6) 伐採総量

(単位：材積m<sup>3</sup>)

区 分		林			地		林地 以外	合 計
		主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
水 土 源 か ん 保 養 全 イ プ 林	国 土 保 全 タ イ プ		—	1,647 (26.44)	1,647	}	}	}
	水	スギ長伐期	—	4,899	4,899			
		スギ分散伐区	—	4,542	4,542			
	土	ヒノキ長伐期	—	—	—			
		ヒノキ分散伐区	—	—	—			
	源	ヒノキ枝打分散伐区	—	1,759	1,759			
		カラマツ長伐期	—	713	713			
	か	スギ複層林	120	7,115	7,235			
		ヒノキ複層林	—	891	891			
	ん	択 伐	611	784	1,395			
		そ の 他	—	133	133			
	保	小 計	731	20,836 (330.96)	21,567			
		計	731	22,483 (357.40)	23,214			
森 林 の と 共 人 生 と 林	自 然 維 持 タ イ プ		—	— (—)	—			
	森 林 空 間 利 用 タ イ プ		—	— (—)	—			
	計		—	— (—)	—			
資 源 の 利 用 環 林	スギ中径材		13,131	1,136	14,267	}	}	}
	ヒノキ中径材		2,206	410	2,800			
	計		15,337	1,546 (21.26)	16,883			
合 計		16,068	24,029 (378.66)	40,097	2,100	42,197	—	42,197
年 平 均		3,214	4,806 (75.73)	8,019	420	8,439	—	8,439

(注) ( ) は、間伐面積(ha)である。

(再掲) 市町村別内訳

(単位：材積 $m^3$ )

市町村名	林			地		林地 以外	合計
	主伐	間伐	小計	臨時伐採量	計		
佐野市	3,563	6,950	10,513				
鹿沼市	12,505	17,079	29,584				
足利市	—	—	—				
合計	16,068	24,029	40,097				

(注) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

## (7) 更新総量

(単位 : ha)

区 分		水 土 保 全 林			森林と人との共生林			資源の 循環 利用林	合 計
		国 土 保 全 タイプ	水 源 かん養 タイプ	計	自 然 維 持 タイプ	森 林 空 間 利 用 タイプ	計		
人工 造林	単層林造成	—	20.47	20.47	—	—	—	35.58	56.05
	複層林造成	—	0.47	0.47	—	—	—	—	0.47
	計	—	20.94	20.94	—	—	—	35.58	56.52
天然 更新	天然下種第1類	—	—	—	—	—	—	—	—
	天然下種第2類	—	8.63	8.63	—	—	—	—	8.63
	ぼう芽	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	—	8.63	8.63	—	—	—	—	8.63
合 計		—	29.57	29.57	—	—	—	35.58	65.15

## (8) 保育総量

(単位 : ha)

区 分		水 土 保 全 林			森林と人との共生林			資源の 循環 利用林	合 計
		国 土 保 全 タイプ	水 源 かん養 タイプ	計	自 然 維 持 タイプ	森 林 空 間 利 用 タイプ	計		
保 育	下刈	—	155	155	—	—	—	113	268
	つる切	—	30	30	—	—	—	—	30
	除伐	—	36	36	—	—	—	—	36

### 3 林道等の整備に関する事項

基幹・ その他別	開設 ・ 改良	路線名	箇所 (林班)	延長 (m)	備考
その他	開設	原向・古峰原（古峰原）線 （林業専用道）	620	1,900	
		東原線（林業専用道）	161	400	
		百川線百川支線（林業専用道）	601	500	格上
	計	3 路線		2,800	
その他	改良	原向・古峰原（古峰原）線	620	30	土留工
		長 沢 線	619	50	
		焼 山 線	619	50	
		百 川 線	601外	50	
		嘉 戸 沢 線	608	20	
		寒 沢 線	606	30	
		寒 沢 線 寒 沢 支 線	606	30	
		羽 遠 線	611	30	
		馬 置 線	609	20	
		皆 沢 線	158外	40	
		石 鴨 線	165外	70	
		根 本 沢 線	165外	10	
		東 原 線	161	10	
	計	13 路線		440	
合計	開設	3 路線		2,800	
	改良	13 路線		440	

#### 4 治山に関する事項

位置 (林班)	区分	工種	計画量
158、161、162、601、603、605、611	保安林の整備	本数調整伐 除伐育 保	84ha
605	保安施設	山腹工	1箇所
合計	保安林の整備		84ha
	保安施設		1箇所

#### 5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

該当なし

(2) 緑の回廊の名称及び区域

該当なし

#### 6 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	選定理由	位置 (林小班)	備考
風景林	大坊山	既設	229.62	足利市の東方に位置し、天然林で構成され、優れた自然景観を呈しており、市街地の近郊林として親しまれている。 このため、引き続き景観の維持に努めることとする。	168 ち、り <sub>2</sub> 、わ <sub>2</sub> 、か、れ <sub>3</sub> 、そ	育成複層林施業
					169 ち	
					170 い <sub>2</sub> ～は、ほ、へ <sub>2</sub> 、と、か、た	
					171 は <sub>2</sub> 、ほ、る <sub>3</sub> 、わ	
					168 い～と、り <sub>1</sub> 、ぬ～わ <sub>1</sub> 、わ <sub>3</sub> 、よ～れ <sub>2</sub> 、つ～な <sub>2</sub>	天然生林施業
					169 い～と、り、る	
					170 い <sub>1</sub> 、に、へ <sub>1</sub> 、ち～わ、よ、れ <sub>1</sub> ～れ <sub>3</sub>	
					171 い <sub>1</sub> ～は <sub>1</sub> 、は <sub>3</sub> 、に、へ～る <sub>2</sub> 、か～つ	
					171 イ	林地以外
	風景林 計		229.62			
	合計		229.62			

## 7 その他必要な事項

### (1) 施業指標林、試験地等

種類	名称	設定年月	面積 (ha)	位置 (林小班)	備考
試験地	百川 A 種 収穫試験地	昭 18. 3	1.40	601 ぬ	成長量・収穫量及びその他の統計資料を収集し、林分構造の推移の解明
	谷倉 A 種 収穫試験地	昭 17. 3	1.50	608 わ	〃
試験地 計			2.90		
合 計			2.90		

### (2) フィールドの提供

該当なし

### (3) その他

レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプの施業方法

位置	面積 (ha)	施業方法
169 ぬ	6.18	育成複層林施業
計	6.18	

(注) (1)、(2) の箇所を除く。